

今こそ確かな
行政経験を

さらに住みやすいまちへ前進!

市民と共に歩み私が座間を守ります!



座間市長・無所属 62歳
遠藤みきお

市長としての実績

キャンパス座間返還地利用(座間総合病院開院、消防本部庁舎新設、公園整備)、イオンモール座間誘致、子育て世代包括支援センター「ネウボラざまりん」開設、小中学校の各教室にエアコン設置、上下水道事業の公営企業化、芹沢公園の拡充、栗原コミュニティセンター開設、市民交流プラザ「プラっとざま」開設

- ①防災減災・防犯のまち
 - ・自然災害の激甚化に備え防災機材を充実
 - ・防犯カメラ、防犯灯を設置充実
- ②多世代にやさしいまち
 - ・妊娠出産から保育までの包括サービス
 - ・保育の定員確保と内容の充実
 - ・高齢者に対するケアの推進
 - ・障がい児者への理解と生活を支える体制づくり
 - ・生活困窮者への支援提供
- ③産業を育むまち
 - ・農地の有効活用と地産地消の推進
 - ・商店街活性化、店舗リニューアル事業の推進
 - ・「大岡まつり」や「のまわりまつり」を活かしたシティーセールス
- ④共に考え共に歩むまち
 - ・市民活動サポートセンターの活用
 - ・各種団体、市民の地域活動を支援
- ⑤教育と学びを大切にするまち
 - ・ICT学習環境の充実強化
 - ・学校トイレなどのリニューアル
 - ・外国語教育の充実
- ⑥都市基盤整備を進めるまち
 - ・公共施設の維持管理と整備
 - ・座間南林間線の道路整備
 - ・小田急相模原駅にペDESTリアンデッキ
 - ・相武台駅前南口に広場整備
- ⑦信頼される行政経営のまち
 - ・間断なき行政改革と財政健全化
 - ・市民意見を反映させた第5次座間市総合計画の策定
 - ・シティープロモーションとシティーセールスの推進

これからも
新型コロナウイルス対策
しっかりと取り組みます

総額
約17億円超54事業実現

54市費負担分約10億円

- 暮らしを守る
 - ・新生児にも10万円給付
 - ・住宅リフォーム最大25万円助成
- 子どもの教育を守る
 - ・県内先行1人1台タブレット
 - ・WiFi、デジタル教科書整備
- 経済を守る
 - ・中小企業に緊急支援10万円
 - ・雇用継続でさら30万円
- 複合災害から守る
 - ・113密の避難所設備
 - ・感染症対応の高機能救急車

遠藤みきお 昭和32年10月28日生まれ、座間市さかみ野在住。早稲田大学教育学部卒業。株式会社ヤマ代表取締役社長、プロフィール 座間市商工会会長、座間市観光協会会長を歴任し、座間市長(3期目)、全国市長会理事(財政委員会)

遠藤みきお 検索

多選にNo! 女性市長にYes!

- 1 子育てに「やさしい」座間へ
 - 保育園待機児童の解消と全員喫食中学校給食の実施
 - 多様な発育を手厚くサポート、児童発達支援センターを設置
- 2 人生100年、福祉に「やさしい」座間へ
 - 生きがい(生涯学習、スポーツ、地域活動等)を支援
 - 在宅介護支援と特別養護老人ホームの整備拡充
- 3 仕事に「やさしい」座間へ
 - 商業振興条例の施行で「顔の見える」地元のお店を応援
 - 公契約条例を制定し、給料のソコアゲを支援
- 4 暮らしに「やさしい」座間へ
 - 市内移動や駅までのアクセスの利便性向上を推進
 - 行政と市民の対話を推進 ● 災害防災対策を拡充
 - 「平和を守る」基地のある街を一日でも早く脱却

- 新型コロナウイルス対策
- 市長報酬20%削減、コロナ対策の財源へ
 - プレミアム付き商品券の発行やコロナ対策認定店舗の応援
 - 発熱外来急患センターの設置
 - エッセンシャルワーカー(医療従事者、介護福祉士等)を支援

佐藤みと(弥斗)プロフィール

市民に身近な議員として過去の選挙においてトップ当選を2回果たすなど、高い評価と人気を得る。政治の原点は、火力発電所建設計画が住民の声が届かず進むことに対する撤回運動。36歳の時に夫をガンで亡くす。以来、女手一つで、働きながら4人の子育てを経験する。座間に嫁いで30年。

元座間市議会議員 昭和45年生まれ
法政大学文学部中退、東京生まれ
家族●義父、義母、2男2女
資格●介護ヘルパー2級
障がい者(児)ヘルパー2級
特技●剣道(2段) 趣味●コーラス



無所属
佐藤みと

投票日 9月20日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで